

(第3種郵便物認可)

初の認定ランドセル

地域ブランド「豊岡靴」

地域ブランド「豊岡靴」の認定を受けた、初めてのランドセルの販売が始まった。かばんメーカーの羽倉（豊岡市）が、大阪の工業デザイナーや販売代理店と協力して製作。牛革だけで作った商品は、デザインや人目に触れにくい部分の仕上げにもこだわられる。色も17色を用意。現在インターネットで受注している。



「豊岡靴」の認定商品として販売された羽倉のランドセル＝豊岡市泉町

豊岡のメーカー「羽倉」が発売

「総牛革」など5種

販売するランドセルは、革の種類やデザインの違いで5タイプがそろった。主力商品となる「総牛革タイプ」(5万9400円)は、多彩な色に加え、ふたとなる「かぶせ」の部分に、ハートや天使の羽などの刺しゅうも入れられる。ほかにも、色の異なる牛革と人工皮革を組み合わせた商品などが

(秋山亮太)

セル」をコンセプトに、職人が1個ずつ時間と手間をかけて作る。6年間使える強度に加え、自分好みにカスタマイズできるのも強み。子や孫に「特別なものを持たせたい」という入をターゲットにしている。

による生産(OEM)。近年は買い手との距離が近い自社製品の生産にも力を入れている。

本革のランドセルは全国でも意外に少なく、同社が培ってきた技術が製造に生かせるため、昨年1月、「豊岡の技術を生かしたランドセルを」と企画した。同社の仕事にも携わってきた大阪の工業デザイナー、三谷忠史さん(58)をブランドマネジャーとして招聘。同4月からデザインや加工方法を検討し、このほど初生産した約100個を発売した。

「2日に1回は作り方を見直した」と、完成までの日々を振り返る羽倉嘉徳社長(54)。豊岡のかばん産業に携わる身として「技術で妥協はしたくなかった」と話す。

今年2月には、兵庫県靴工業組合による厳しい品質検査などを受け「豊岡靴」ブランドの認定も受けた。ランドセルとしては初の「豊岡靴」であることもアピールする。来春は3千個の生産を目指す。

価格は5万4千～8万4240円。豊岡市と大阪府泉佐野、吹田両市の3カ所のショールームで展示している。羽倉社長は「豊岡のかばん業界と地域の盛り上がりにも貢献できればうれしい」としている。購入などの問い合わせは、総代理店のアーツ云0120・38・7706

「オンラインワン」のランド